

議員提出議案第 1 号

自衛隊及び隊員とその家族等に対する差別的発言の防止に関する決議

上記の議案を会議規則第14条第 1 項の規定により提出する。

令和 8 年 7 月 8 日

沖縄県議会議長 中 川 京 貴 殿

提出者	島 尻 忠 明	宮 里 洋 史
	徳 田 将 仁	新 里 治 利
	新 垣 善 之	新 里 匠
	喜屋武 力	大 屋 政 善
	小 渡 良太郎	新 垣 淑 豊
	比 嘉 忍	仲 里 全 孝
	仲 村 家 治	下 地 康 教
	新 垣 新	大 浜 一 郎
	西 銘 啓史郎	又 吉 清 義
	呉 屋 宏	島 袋 大

理 由

自衛隊及び隊員とその家族等に対する差別的発言の防止について関係要路に要求するため。

自衛隊及び隊員とその家族等に対する差別的発言の防止に関する決議

2026年6月15日の参議院予算委員会において、立憲民主党の古賀千景議員から、自衛隊に対し「自衛隊は経済的に厳しい子が行く」「豊かな子どもたちは自衛隊になり得ない」という旨の発言が発出された。

この発言は単に一国会議員の不適切発言にとどまらず、自衛官という職業を家庭の経済状況や社会的属性と一方的に結びつけて、一面的または否定的に捉えるものであり、自衛官本人のみならず、その家族、退職自衛官、予備自衛官、さらには自衛官を目指す子どもたちに対する重大な偏見を招くばかりか、志願して職務を全うする人々への一方的な冒瀆である。

この発言についてはその後撤回されているものの、言論の府たる国会において発言がされている以上、あらゆる職業差別を許さないという観点からは、発言を取り消して済むような話ではなく、かような発言の前提となった認識そのものを正す必要がある。

児童生徒や若者が職業選択の際に自衛官を検討または志望することは、憲法上保障された職業選択の自由の一環であり、自衛隊及びその隊員が、国防のみならず、災害派遣、急患空輸、不発弾処理、国民保護、離島地域の安全確保等を通じて国民の生命・身体・財産を守る重要な公的使命を担っていること、特に多数の離島を抱える地理的特性を有する我が沖縄県において、急患搬送や不発弾処理の活動が県民生活の安全と密接不可分であることを鑑みると、その職業選択が学校現場や地域社会において偏見の対象とされかねない言動については許されるものではない。

よって、沖縄県議会は、古賀氏の発言に対し厳重に抗議するとともに、自衛隊及び隊員とその家族に対する差別的な発言の防止を社会的に周知徹底することを求める。

上記のとおり決議する。

令和8年7月13日

沖 縄 県 議 会

参 議 院 議 員	古 賀	千 景	宛て
立憲民主党代表	水 岡	俊 一	
衆 議 院 議 長			
参 議 院 議 長			